

第 59 回町村議会議長全国大会 自由民主党幹事長祝辞

自由民主党幹事長の谷垣禎一でございます。今日は「第 59 回町村議会議長全国大会」のご盛会を心からお慶び申し上げたいと存じます。そして毎年、与党代表として、我が党の幹事長がお招きいただいておりますことにも改めて心から御礼申し上げたいと存じます。

自由民主党は地域に根ざした政党である、そこに根を下ろし、根を生やしてこそ自民党があるのだと、3 年 3 ヶ月の野党生活を送りました時に気づかされたことがその点でございます。従いまして、928 の町村で地方自治の最前線でご活躍をいただいている町村議会の方々こそ我が党を本当の意味でお支えいただいたの方々であると思っている訳でございます。

今、石破大臣からもお話がありましたけれども、町村を取り巻く情勢は厳しさを増しております。「地方創生」これに対応する施策、私たち自民党は皆様とよく議論を交わしながら、多くの国民の理解を得ながら、物事を進めていかなければならない、この様に考えているところであります。

TPP の問題につきましても、多くのご心配があたりだと思えます。TPP は、一面我が国にとって大きなチャンスをもたらすものであると私は思っております。しかし、激しい競争一辺倒では多くの国民からの理解を得られないことも明らかでございます。地方の創意工夫を活かした政策を進める一方で、多くの不安を和らげていくための丁寧な説明を尽くしていく包容力のある政策こそが、今の我が党に求められていると考えているところでございます。

それから私どもと皆様の共通の心配事のひとつは地方議会、特に町村議会を志す若い方々がなかなか得られないという点でございます。地方自治の原点である地方議会が活性化しないということでは町村の未来にとっても、あるいは日本の未来にとっても、これは大変に憂うべきことでございます。そして議員を目指す若い方々が何故なかなか出てこないか、その原因のひとつに議員報酬の問題があるということも我が党は深く認識しているところでございます。地

方自治を自ら痛めつける様な政策を掲げて有権者の人気取りに走っている向きもないとはいえない訳でございますが、我が党は地方議員の年金制度につきまして、プロジェクトチームを作り、真摯に検討しているところでございます。地方自治の中で町村議会が果たしている役割を深く国民に理解していただき、この問題を解決して、次の世代に繋げていきたい。このように考えている所でございます。

お陰様で、我が党は今年の11月15日で、立党60周年、還暦を迎えるところでございます。これまでの我が党の歩みは先程申し上げましたように、地域を大切にされてこられた先人たちによって作られてきたものでございます。この原点を守る自由民主党であるということを改めてここでお誓い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日のご盛会を心からお祝い申し上げます。有難うございました。

平成27年11月11日

自由民主党幹事長 谷垣 禎一